

まだまだやれる旧基準機

カギを握るのは「バジス絆」&「ゴッズ」

今年2月末時点で、「新基準に該当しないパチスロ」の設置比率は約56%とされており、その比率自体は下がってきているものの、新基準機の稼働や集客力が心もとない状況の中で、依然として、「バジリススク」甲賀忍法帖「絆」を中心とする旧基準機が、ホールの屋台骨を支えている。この旧基準機をどう活用していくのか。ユーザー心理の傾向なども交えながら、考察してみたい。

「4は負ける設定」に必要なのは「6」の証拠

パチスロユーザーは、ホールに何を求めているのか？

パチスロユーザー兼ブロガーのコミュニティ・回胴連を主催するBURNINGの野村武久取締役は、「結局は設定6なのです。今のユーザー、特にヘビーユーザーは『6がどれだけ入っているのか』、それだけにフォーカスしています」と語る。

というのも、非等価が主流となっ

てきた現在、「ユーザーの間では、

『4は負ける設定』と言われていきます。ホールにおいては、平常営業日はまだしも、強化したい日であれば、可能な限り6を使うことが正義に近しいと感じます」と野村氏。

そして、ユーザーにとって、「設定6」を証明するものが、遊技機に搭載された「確定演出」だ。現在、「バジリススク絆」「魔法少女まどか☆マギカ」といった人気機種には、たいていこの機能が用意されている。

同演出はホールにとっても利点があり、野村氏は「一人のユーザーに確固たる『証拠』が出ると、口コミで広がり、店全体が盛り上がるので、全体の投資が増えるという道筋ができるのです」と話す。

こうしたユーザーや機械の傾向を考えると、主力旧基準機を効果的に使いこなすには、「設定6」の投入が必須と言えそうだ。

エスサポートの三木貴鎬社長も、「特に『バジリススク絆』は、朝一の集客用と割り切ること。『バジリススク絆』で設定6を使っていれば、ほかの機種でも使っていると感じてもらえます。店の信頼作りに貢献させるのです」とする。

高設定の原資は過去の『名機』で作る

だが、高設定を投入するには原資が必要となる。それをどこから捻出すればいいのか？

新台購入を控えるのも一つの手だろう。アテインの糸柳達成社長は、「新台が必要ないわけではありませんが、今の時期はムダな支出を抑え、寿命の長い機械にしつかり設定を入れ、既存ファンを離反させない営業を堅実に行うことが求められます。下位店舗になればなるほど、これを



高い人気を誇る「バジリススク絆」(写真はイメージです)

徹底しなくてはなりません。スロットファンは情報感度が高く、フットワークも軽いですから、高設定を投入することで、逆転のチャンスも生まれます」と主張する。

一方、船井総合研究所の渡邊龍信経営コンサルタントは、旧基準機を「稼働型」と「一昔前型」に分類する。



野村取締役

稼働型の旧基準機は、「バジリスク絆」「まじか☆マギカ」など。一昔前の旧基準機は、過去に人気を博したマシンのことで、「アナザーゴッドハーデス」「北斗の拳 転生の章」などが該当する。

「前提として、一昔前の旧基準機では還元を考えません。存在すること自体が、お客さまが遊技する理由になるのです。たとえば、仕事が休みの土日に来店する40代以上のサラリーマン層が、自分の知らないアニメ版権の新基準機を遊技するとは考えにくい。そうした層が選ぶのは、自分がよく知っている機械です」と渡邊氏。

ゆえに、『ハーデス』『ミリオングッド 神々の凱旋』『北斗転生』『サラリーマン番長』『秘宝伝 太陽を求める者達』といった、知名度のある機械は必ず設置する。そして、しっかりと利益貢献させるのです」とした。

強豪ホールは

6の使い過ぎに注意!?

これらのことを踏まえた上で、まず「稼働型旧基準機」の代表格「バジリスク絆」の活用を考えたい。

設定6の投入は基本とはいえ、現実的に考えると、チラ見せ程度に抑えるのが妥当だろう。渡邊氏は、「ガチガチの激戦区は別ですが、多



渡邊経営コンサルタント

少ゆるい商圏であれば4でも十分です。お客さまは、勝てば6だと思ってくれます」と話す。

さらに、「1、2番店などの強いホールに注意してほしいのが、設定6を使い過ぎないこと。ユーザーに設定6を体験させ過ぎると、確定演出を見なくても、体感で6が分かるようになってしまいます」とした。

「バジリスク絆」などのユニバーサル系のマシンは、設定の偶奇による挙動差がハッキリしている。ゆえに、偶数設定を用いて、設定6への期待感を高めることが鉄則。そうすることで、顧客は、確定演出の出現を求めて深追いしてくる。ところが、体感で6が分かる顧客だと、2や4を追いかけてくれない。そうした層が増えると、偶数運用という手法自体が成り立たなくなるのだ。

2000万円でも損はない? 「バジ絆」の増設

また、多くのホールを悩ませているのが、「バジリスク絆」の増設

問題だろう。同機の中古機価格は、4月末現在で平均200万円を超えてきている。

登場からおよそ2年半。そろそろ飽きられても不思議ではないが、グローバルアミューズメントの青山真将樹社長は、「お客さまが飽きているのであれば、もっと早い段階で離れていたでしょう。ホール側が台数を揃え、ある程度設定投入するという営業を続けていく限り、今の状況が継続すると思います。自店の稼働にもよりますが、可能であれば買っておいて損はないでしょう」と話す。

渡邊氏も「バジリスク絆」の客数比率が、高い商圏だと約15%まで上昇しています。『沖ドキ!』ですら、30%とトロピカルを含めて8%程度。とすると、商圏によっては、沖ドキのほぼ倍の台数が必要ということになります」とする。

さらに糸柳氏は、「新基準の新台を40万円10台買うよりも、(バジリスク絆を)2台買うほうが、いざとなれば高値で売却できます。トータルで機械代は削減できます。1、2番店より、むしろ下店舗こそ、こうした考え方が必要です」と力説した。

もつとも、どう頑張っても設定投入が難しいホールの場合、同機にこだわる意味は薄い。自店にある同機を売却し、それを原資に、よりコイン単価や粗利率が高く、ある程度稼

働も期待できる「沖ドキ!」などを増設・強化するのも策だろう。

減台はNG?

「全一」で生きる「インデ」

では次に、利益貢献させるべき、「一昔前の旧基準機」について考えたい。カギとなるのは「ハーデス」「凱旋」だ。

青山氏は「ゴッドは減台傾向にあります。残している店舗に土日のお客さまが集まってきています。稼働的には足を引っ張る存在だとしても、IN枚数7000枚ほど動いていけば、1日の売上は3万5000円。11・2割分岐、粗利率20%で営業しても、台粗利7000円程度は確保できます。IN枚数7000~8000枚が見込めるようであれば、絶対に持つていたほうがいい」と強調した。



「ハーデス」「凱旋」は一定数を保有し、利益貢献の柱に(写真はイメージです)



「モンハン月下雷鳴」など、まだまだ使える旧基準機はある（写真はイメージです）

また、その運用について渡邊氏は、「とにかく設定1で利益貢献させる。強化週間などを実施する際も、設定1とリセットで十分」と語る。「『ハーデス』『凱旋』は設定4以上でないと、明確な設定判別基準が出てきません。4以上が使えるのなら別ですが、伝わらない2、3を使うよりも、設定1でリセットをかける

たほうが、ユーザーの満足度も高まります」

ほかにも、利益貢献させるべき機種としては、北斗の拳の「強敵」と「転生」が挙げられる。

現在、両機は「設定不問の『北斗好き』が遊技している状況」（三木氏）で、その役割を十分に果たしているが、注意したいのは、近々、シ

リーズ最新作「北斗の拳 修羅の国」が登場してくること。

三木氏は「北斗客の引き継ぎのために、多少の設定投入は必要でしょう。『強敵』で言うと、設定3から如実に稼働が上がっていきま

「月下雷鳴」「忍魂式」…再設置したい機械はこれ！

ここまで、主要旧基準機の活用を見てきたが、これらの機種だけでは、絶対数が不足している感否めない。そこで今後、導入・再設置すべき旧基準機についても考えてみたい。

野村氏は、「交響詩篇エウレカセブン2」「化物語」「モンスタースターハンター月下雷鳴」「忍魂式」「烈火ノ章」を推奨する。

「『エウレカ2』は豊富な設定判別要素、『化物語』はコンテンツが魅力です。そして、『月下雷鳴』は等価では甘すぎて使えないという理由で撤去された機種。現在は非等価が主流なので、使いどきではないでしょうか。また、『忍魂式』はコアな機種ですが、回胴連のユーザーからの評価が非常に高い。設定6だと、確実と言っているほど、しっかりと出ます。この『甘さ』が現状の機種にはない魅力ですね」と説明した。

新基準機にない出玉の迫力ということなら、「獣王王者の帰還」なども候補に挙がってくるだろう。

一方、渡邊氏は「STEINSGATE」など、昨年10、11月に発売された旧基準機を、ホールは意外に導入していません。そうした機械も狙い目です。しっかりと利益貢献させましょう」と助言する。

また、機種選定の基準としては、「出玉面では、MY3000近くはほしいところ。スベック面では、AT初当たり確率やボーナス合算確率だけでなく、小役の合算確率も見ること。1000円投入して、確率的に小役が1回出るかどうか。これが出ないと、何も起きない機械ということで、ユーザー的にはキツイ」とも。

さらに、「上乗せ特化ゾーンの種類が多過ぎる機械もNGです。こうしたタイプは、最上位の特化ゾーンに入らないとまず勝てないので、ユーザーが夢を見られません。特化ゾーンは1種類がベスト。ユーザーも『ゾーンに入れば、なんとかかなりそうだ』と感じてくれるのです」と渡邊氏。

新基準機が心もとない今、旧基準機を大切に使うていくしかない。そのためには、それぞれの機械特性をあらためて把握しなおし、それに合致した役割を与えること。その上で、ユーザー心理にも目を配った、きめの細かい運用が求められるのだ。